

事業所名		東部地域療育センターぽけっと		支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		25 日	
法人（事業所）理念		<使命> ・すべての人々がかけがえのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していける社会を築くことを目指します。 ・隣人とのであい、ふれあい、そだちあいを大切にし、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。 ・世界の人々とのかわりを通して、福祉社会の実現のためにはたります。 <基本方針> ・家族のみならずとともに、子どもたちのゆたかな育ち、成長を応援します。 ・障害を持つ人も、介護が必要な人も、地域で当たり前の生活、生涯が全うできるようお手伝いします。 ・誰もが住みよい福祉のまちづくりを、地域のみならずと協力して進めます。											
支援方針		・子どもたちひとり一人の発達・障害・生活（育成歴）に視点をあて、子どもをまるごと捉えます。 ・乳幼児期の子どもの育ちにとって大切な生理的基盤を整え、いきいきと生活しあそぶこと、生活年齢にふさわしい経験のなかで生きる力の土台を育むことを大切にします。 ・子どもの好きなあそび、興味を支えに保育者との信頼関係を築くことを大切にします。 ・1年間同じクラス、同じ担任、繰り返しの日課の中で、子ども自身にとってのわかりやすさを大切にし、安心して通うなかで子ども同士の関わりを上げていくことを大切にします。 ・生活やあそびのなかで子どもの主体性を大切にし、自分でやってみたい、という意欲、自分の気持ちを表現することを大切にします。 ・保育者をはじめ、様々な職種のスタッフが連携し、療育を行います。 ・子どもに対する家族の思いを受けとめ、子どもへの願いを共通のものとしします。											
営業時間		月・火・木・金：10時～15時 水（親子通園日/親子あそび、保護者研修などのプログラムを実施） 9時45分～12時45分 見守り一時支援事業/9時～10時・15時～17時（定員有）				送迎実施の有無		マイクロバス1台、10人乗りのワゴン車2台で乗車時間が1時間を超えないよう配慮し、保護者の方と確認したバス停を周り送迎を行います。3キロ圏内の方は基本的に直接送迎をお願いしています。 ご家庭の状況に応じて送迎を実施する場合もあります。					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・24時間の生活リズムを整え、発達の土台となる健康なからだづくりを日々のたんれんやあそびを通して積極的に行います。 ・ひとり一人の健康状態や医療的ケアの必要な子どもの情報を家族・保育者・看護師で共有し、安心して活動できることを大切にします。 ・子ども自身の状況に合わせて、食事、排せつ、睡眠、着脱、清潔に関する身辺自立（自律）を促します。 ・生活の場面では繰り返しの日課、環境への配慮など、子どもたちにとってのわかりやすさを大切にします。											
	運動・感覚	・子どもたちの七感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚・前庭覚・固有覚）にはたらきかけるなかで様々な感覚を刺激し、心地よさや受け止める力を広げ、好きなあそびを増やしていくことに繋げます。 ・子どもたちの好きなあそびを土台に、全身を使ってあそぶことの楽しさを広げます。 ・可塑性の高い様々な素材に触れてあそぶ経験のなかで、手指を使うあそびの楽しさを知り、自分からものに関わる力を育てます。 ・自然のなかで全身を使って遊ぶ経験を大切にします。音楽療法や芸術鑑賞などの機会を通して、本物に触れる経験を大切にします。											
	認知・行動	・ひとり一人の発達段階に合わせたとりくみのなかで、「やってみたい」という意欲を高め、達成感を感じます。 ・また、期待して繰り返しあそびに向かうことを大切にします。本人の意欲に大切にする活動の中で、あそびの面白さに気付くこと、自分のからだから外の世界へとさらに興味、関心が広がることを大切にします。											
	言語コミュニケーション	・子ども自身にとって心地よい感覚、全身を使った楽しいあそびの経験を通して「もっとあそびたい」という要求を高め、人に向かって要求を伝えようとする気持ちを育みます。 ・自分の気持ちを伝えたいという要求を持ち、相手からはたらきかけを受け止め、視線、表情、身振り、ことばで自分の気持ちを表現すること、大好きなおとなとのやりとりを積み重ねます。 ・ことばだけでなく、具体物を見せる、マカトンなどのサインを使うなど、子どもにとってのわかりやすさを大切にします。											
	人間関係社会性	・保護者との二項関係を土台に保育者との安心できる信頼関係を築きます。 ・おとなとの安定した関係を土台に、お友だちへの興味、関心、関わりに広げます。そして、生活やあそびの場面で保育者が間に入りながら、お友だちと安心して関わる体験を積み重ねます。 ・小さい集団での活動を経験する中で、みんなと一緒に嬉しい気持ちを育てます。集団のなかでひとり一人が主役になる場面、認め合う場面を大切にします。											
家族支援		子どものことを家族から学ぶ視点を大切に、家庭の状況や生活をとらえ、子どもへの思いを受け止めます。お母さん、お父さんが我が子と一緒にあそぶ体験を大切に、子どもたちのかわいいところを保育者も一緒に見つけます。毎月の保護者研修、先輩お母さんとのつながりを大切に、子どもへの理解を深めることと併せてリフレッシュの時間も大切にします。これらを通して保護者同士がつながることを大切にします。行事ではきょうだいが楽しく参加できるよう工夫し、交流や楽しい体験の場を作ります。				移行支援		保護者と懇談を実施し、子どもの姿から次の集団を考えることを大切にします。また、必要があれば希望している移行先への見学に担任が同行し、集団での子どもの姿を伝えます。 就園、就学に向けて就園説明会、就学懇談会、学校見学、サポートブック研修を行います。移行先が決まった後は、保護者の同意のもと、引継ぎ表の作成、送付、移行先への訪問を行います。					
地域支援・地域連携		他機関と連携し、より良い支援ができることを大切にします。保育所等訪問支援を実施することで、子どもの姿をとらえ合い、理解を深めること、また子ども自身が集団のなかで自分らしく力が発揮できることを目指します。				職員の質の向上		子どもの姿について、保育の場面だけでなく、多職種での連携やケース検討を通して理解を深めます。職場内での研修の実施だけでなく、外部での様々な研修に参加し、学んだことを日々の療育に活かします。					
主な行事等		入園進級式・卒園式・家族行事（遠足・海水浴・そりあそび・舞台鑑賞・クリスマス会・お誕生日会）・保育のまとめの行事（かぞくうんどう会・えがおまつり）・季節の行事（七夕・おもちつき・節分・ひなまつり）・年長宿泊など											